

くらす

第2号

2014.10.10発行

特集 「書を持ってよ、町へ出よう」

シリーズ やつぱり素敵です！理想の住まいづくり

住まいの勉強会、みんなで行ってきました。



「書を持ってよ、町へ出よう」

風は涼しくなり、少し暗れ渡り気候も爽やかなる頃となり、夕が焼くようになり、また、街のあちこちも静寂に落ちつきをみせ、時間の流れも感じさせます。そして、この時刻は「町へ出よう」と思わせます。秋といえば、食は、紅葉の風景、そして、町へ出ようと思わせます。そこで今回は、読書と旅を軸に、三浦の町へ出てみることにしました。

「三浦半島の旅」は、三浦半島の歴史、文化、そして、町へ出ようと思わせます。そして、読書と旅を軸に、三浦の町へ出てみることにしました。



「三浦半島の旅」は、三浦半島の歴史、文化、そして、町へ出ようと思わせます。そして、読書と旅を軸に、三浦の町へ出てみることにしました。

「三浦半島の旅」は、三浦半島の歴史、文化、そして、町へ出ようと思わせます。そして、読書と旅を軸に、三浦の町へ出てみることにしました。



この地図は、三浦半島の歴史、文化、そして、町へ出ようと思わせます。そして、読書と旅を軸に、三浦の町へ出てみることにしました。

この地図は、三浦半島の歴史、文化、そして、町へ出ようと思わせます。そして、読書と旅を軸に、三浦の町へ出てみることにしました。

この地図は、三浦半島の歴史、文化、そして、町へ出ようと思わせます。そして、読書と旅を軸に、三浦の町へ出てみることにしました。

土曜式で「開まき」の手配が...



開工式で「開まき」の手配が...

「開まき」の手配が...

「開まき」の手配が...



住まいの健康気分 みんなで行ってききました

「住まいの健康気分」みんなで行ってききました。

「理想の住まいづくり」の第一歩は、理想の家に建てられた。鈴木さんご夫妻のお宅。鈴木さんの家族のご要望は、自然素材の素材を使った家でした。また今回の新築は、長年通って来たご実家の隣地に建てられました。

まず外観は、後継材を使ったやわらかなデザインの外観が目にとまります。またアールモのついた玄関は、黒目の二層はおで置かれ、玄関の扉は、この扉がモダンになっています。

1階は、大きなリビングと洋室、キッチン、お風呂の浴室と和室になっています。LDKには、オーブンタイプの扉面キッチンを入れた、空間が広がります。また自然素材を使った洗面化粧台は、洗剤がやわらかく、手にしているだけでやさしい気分になります。そしてLDKと洋室の扉面は、匂い天井で仕上げ、さらに壁をあらわしにして天井を高くし、開放感あふれるつくりにしています。

最後に鈴木様よりひとこと。

「妻の祖父、家の建築、そして私たち夫婦と、家族三代で家づくりをお手伝いしていただきました。建築工務店さんを導いた建築家は、やはり信頼性の高さが一番。特に現場監督の方を含めた打合せが丁寧。要望を丁寧に聞き取り、いざ現場にしてくれたので、とても満足しています。しかも、今後何かあってもすぐに修繕できなくていい安心感がある。これから子供が生まれたあとも、近いおつきあいをしていきたいと思えます。」

鈴木様、今後ともよろしくお付き合いします。

【シリーズ】

やっぱり素敵です！理想の住まいづくり。



リビング、ダイニングキッチン一体とリビング、キッチン一体のキッチンが、お部屋の雰囲気を引き上げます。



玄関の扉は、お部屋の雰囲気を引き上げます。



お部屋の雰囲気を引き上げ、お部屋の雰囲気を引き上げます。



お家の外観は、お部屋の雰囲気を引き上げます。

